

# ひとりひとりを大切に作る千葉市政を！

## 議会報告

千葉市議会議員

# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2015年初冬の便り号 (通算第27号)  
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173  
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108  
ホームページは「亀井たくま」で検索をお願いします！ メール DQG06110@nifty.com



## 蘇我地区・指定廃棄物処分場建設は今後も反対を！ 犬・猫殺処分はついに1匹にまで減少！

皆様こんにちは！いつもあたたかなご支援・ご声援をありがとうございます！  
今回「9月市議会」の報告ニュースを皆様のもとにお届けいたします。亀井たくまは毎回の議会に質問に登場していますが、9月議会では、9月24日に18回目の質問に登場しました。皆様からいただいたご意見等を踏まえ、5つのテーマについて論戦を展開しました。以下、内容を抜粋してお知らせいたします。  
今後、ひとりひとりの声にしっかりと耳を傾け、議員としての職務に全力を尽くします。日々精進してまいります！12月議会も質問に登場します。どうぞご意見などぜひお寄せください！

### 蘇我地区指定廃棄物処分場問題について

- Q 環境省とは、現在どのような協議をしているか。今後の住民説明会の開催は。
- A (環境局長) 環境省と協議は行っていません。7月の市民説明会で「この場所でご理解をいただきたい」との市民に誤解を与える説明があり、大変遺憾だ。今後の説明会は難しいと環境省に申し入れている。
- Q 現地の「詳細調査」を行うことを認めるべきでないとするが、市の見解は。
- A (環境局長) 地元の意向に基づかず、調査や建設が進むことがないように求め、環境副大臣より「地元」に責任をもって説明する。その努力をせずに詳細調査を行うつもりはない」と回答を得ている。
- Q 放射性物質は時間とともに減衰するので、現在、市内で保管している指定廃棄物7・7トンの放射線量も減るはずだ。再測定をしてはどうか。
- A (環境局長) 指定廃棄物は、法律によって指定手続きが定められているが、解除する手続きは定められていない。このため、市として、指定解除の仕組みの創設を国に求めている。放射能濃度の再測定については、制度改正の状況を見極め、検討する。
- Q 市長は「再協議」でなく「反対」の姿勢を示すべきでないか。
- A (市長) 国からの説明は不十分であり、納得できない。市民意見や市議会の決議を踏まえ、国に「再協議の申し入れ」を行っている。指定廃棄物はそれぞれの自治体で保管していくことが適切との認識が広がっていると感じる。国からの回答を踏まえ、議会と相談し、市民の安全性を第一に判断する。

### 亀井はこう考える！ 今後も市民意見を踏まえ、反対を貫きます！

6月議会に続いての質問です。市議会から「再協議を求める決議」が出されて以降、これまで国から回答はない状況です。今後、事態打開のために、国から「現地の詳細調査」等が提案される恐れもあり、そのようなことがないよう強く求めました。  
また、現在、新港清掃工場(美浜区)に保管されている千葉市内の指定廃棄物7・7トン(千葉県全体の0・2%)の放射性濃度は、8000~1万ベクレルであり、放射線濃度も減衰していくことから、再測定を求めました。(「指定廃棄物」の基準は8000ベクレル以上とされています)  
国からは返答はありませんが、それぞれの自治体で分散保管していくことが現実的な対応と考えます。今後も市民の皆様のご意見を踏まえ、「蘇我への施設建設」には反対を貫いてまいります。

(1)

### 「千葉市歌」の活用について

- Q 市歌やご当地ソングを駅の発車メロディで流している自治体もある。本市でも、鉄道の駅やモノレールで発車メロディとして活用してはどうか。
- A (都市局次長) 駅舎や車両の機械等の変更などに多くの経費がかかる等の課題があるが、鉄道会社やモノレール会社と協議していく。
- Q 千葉市の若者に市民意識や市歌を定着させるため、成人式で市歌を歌ってはどうか。
- A (子ども未来局長) 郷土・千葉市の関心を深めるため、「市歌」の斉唱について検討していく。
- Q 市歌を学校で歌う自治体があるが、本市でも取り組むべきでないか。
- A (教育次長) 小中学校においては、音楽発表会等の機会を通じて指導している。今後も、各学校の授業で一層親しみ機会を設けていく。また、音楽主任や管理職の研修などで、市歌の意義について周知していく。
- Q 市民意識醸成にむけ、市主催の行事等でのさらなる活用を求めているがどうか。
- A (総務局長) 市民意識の向上が図れるよう、関係局と連携し、活用について研究していく。

### 亀井はこう考える！ 私たちの千葉市の歌を高らかに歌おう！

平成24年9月議会でも取り上げたテーマです。前回の質問によって、「千葉市歌」(昭和6年制定)の楽譜や音源が市ホームページでアクセスできるように改善が図られましたが、さらなる活用を求めて質問を行いました。「歌は3分間のドラマ」と言いますが、まさに千葉市の歴史や文化もこの歌の中に凝縮されていると思います。せっかくの市歌が埋もれていることは残念でなりません。学校や地域行事等、さまざまな場面で市歌をみんなで歌うような機会の充実が必要です。今回の質問で、来年度の成人式での市歌斉唱が行われる方向となり、たいへん嬉しく思っています。  
今後、2021年には、「千葉市制施行100周年」を迎えます。市民意識・ふるさと意識を向上させ、みんなでより良い「千葉市」を作りたいと思います。市としての積極的な活用がさらに求められます。このほか、市イメージソング「心の飛行船」の活用についても質問・提案を行いました。

### 動物愛護について ~犬猫殺処分ゼロを目指して~

- Q 殺処分ゼロの実現を。平成26年度の千葉市内の犬・猫の殺処分の現状は。
- A (保健福祉局長) 殺処分は犬は1頭、猫も1匹にまで減少した。
- Q 保護や譲渡が難しい小さい子猫の対策を。保護・譲渡のさらなる取り組みを。
- A (保健福祉局長) 4月から「子猫の育成ボランティア制度」を導入した。これによって、離乳前の子猫も殺処分から譲渡が可能となった。今後、ボランティアの拡大や活動のサポート・環境づくりに努めていく。
- Q 譲渡ボランティアとセンターとの連携や今後の拡充は。
- A (保健福祉局長) 新たな飼い主探しのための「猫の譲渡会」などで連携している。今後、ボランティアの拡大と制度拡充を検討していく。
- Q 以前の質問によって、収容された動物の情報をホームページに載せるようになったが、その効果は。情報の拡散に効果的なツイッターの活用を新たにしているか。
- A (保健福祉局長) 情報掲載により、収容動物の飼い主への返還や譲渡につながっている。ツイッターの活用については、より多くの市民に収容動物の情報が伝わるよう、内容・回数の充実について検討していく。
- Q 今年度こそ殺処分ゼロの実現を。そのための啓発・PRにどう取り組むか。
- A (保健福祉局長) 殺処分が減っている現状とそれを支える取り組みについて、より多くの市民の理解を得られるよう広報周知を行うとともに、ボランティアとの連携・支援などについて、提案しました。今後も市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
犬	センターでの死亡数	161	62	38	24	20	4
	うち、殺処分数	不明	不明	27	15	11	1
猫	センターでの死亡数	1027	757	560	304	349	236
	うち、殺処分数	不明	不明	258	92	127	143

### 亀井はこう考える！ 今年度こそ、殺処分ゼロの実現を！

継続的に取り組んでいるテーマです。全国の犬・猫殺処分も着実に減少していますが、それでも犬が約3万匹、猫は10万匹という状況です。全国各地で頑張らねばいけません。本市ではこの間、多くのボランティア等の尽力により、「不幸な命」は着実に減少してきています。ついに26年度は犬・猫ともに1匹ずつとなりました。ついにゼロが目前のものとなりました。今年度のゼロ実現を求め、子猫の保護・譲渡の充実、ボランティアとの連携・支援などについて、提案しました。今後も市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

(2)

### こどもの安全・防犯対策について

- Q こどもが巻き込まれる事件が心配だ。防犯ブザーの点検や指導の状況は。
- A (教育次長) 防犯ブザーの定期的な動作確認や正しい使用方法等について、各学校に指導している。各学校では、防犯ブザーの取扱いをこども自身に確認させて、自己的安全確保のための意識を高めている。
- Q こどもたちが自らの身を守るよう、体験型・実践的な防犯教育を。盗撮・痴漢をはじめとした性犯罪は深刻で心配だ。女子児童・生徒への啓発を。不審者情報への対応は。
- A (教育次長) 安全教育として、学級指導等で危険から身を守るため、実践を通して、危機予測・回避能力が身につくよう指導している。今後も児童生徒の特性や発達段階を踏まえ、指導をしていく。事件や不審者情報は警察をはじめ市の各機関と速やかに共有し、児童生徒の注意喚起・周辺パトロールを行っている。

### 亀井はこう考える！ こどもたちを事件・事故から守ろう！

こどもたちが被害に巻き込まれる事件に胸が痛みます。登下校時のこどもたちは防犯ブザーを持っています。帰宅後に遊びに出掛ける時には持たないことが多く、また「非常時に適切に使っていない」という調査分析もあります。やはり日常からの意識づけや意識的な訓練が大切です。  
こどもたちの防犯教育においては、体験型より実践的な取り組みをやる自治体もあり、そのような防犯教育の拡充を求めました。また、こどもを狙う犯罪の多くは女子児童・生徒を狙ったものであり、性犯罪は特に心配であることから、女子児童・生徒への啓発の必要性も訴えました。

### 社会的養護・里親制度の推進について

- Q 里親制度や社会的養護の理解を広げるための今後の啓発活動は。
- A (子ども未来局長) 今年度からNPOとの協働を開始して取り組んでいる。シンポジウムなどを開催し、幅広く理解を広げ、里親に興味をもつ方への勉強会など、段階的な啓発活動を行い、里親登録につなげていく。
- Q 子育て支援に取り組んでいる方や不妊治療を受けている夫婦等への啓発や周知を進めてはどうか。
- A (子ども未来局長) 子育て支援に取り組んでいる主任児童委員やファミリーサポートセンターの研修で啓発を行っており、今後も継続して取り組む。不妊治療を受けている夫婦への周知は、最大限配慮を要することから、相談を受けて中、気持ちに寄り添いながら、里親制度を紹介していきたい。
- Q 施設のこどもたちが週末や盆正月などに一般家庭で生活する「トライアル里親」制度は、家庭生活を実際に体験することができ、里親になる側にとっても里親を一時的に体験でき、里親委託の可能性を広げると考える。里親制度促進のために、本市でもそのような機会の拡充を。
- A (子ども未来局長) こどもたちに家庭を体験させる「ふれあい里親」という事業を行っているが、新たな里親確保のために、今後先進事例等を研究してまいります。
- Q 望まぬ妊娠で生まれたこどもと里親をつなげる「赤ちゃん縁組(新生児委託)」の推進を。
- A (子ども未来局長) 児童相談所や各区健康課では、望まない妊娠や育児に悩んでいる妊婦の相談に応じており、状況により、新生児委託という選択肢を示す対応をしている。新生児委託推進のために、望まない妊娠の早期把握や体制整備が必要であり、今後、関係機関の連携・協力を進めていく。
- Q 施設のこどもたちの早期18歳以降の自立支援の現状は。取り組みの強化を。
- A (子ども未来局長) 18歳で施設を退所後も支援を要する児童は、自立援助ホームへの委託等により生活・就業支援を行っている。必要に応じて20歳まで措置を延長し、自立支援をはかっている。今後、市内に「自立援助ホーム」を設置することを検討していく。

### 亀井はこう考える！ 1人でも多くのこどもたちに家庭や支援を！

虐待や家庭の事情により、児童養護施設等で暮らすこどもたちは全国に約3万人。海外では里親制度が主流ですが、日本では8割以上が施設入所という現状です。里親制度の推進・充実が大切です。施設で社会的養護という生活をするこどもたちは、こどもたちの健全やかな成長のために大切です。情緒の安定や進学等への点のみならず、その後の進学や就労にも大きな影響を与えます。まさに「子どもの貧困」に直結する問題です。今回は、先進的な自治体の事例を参考にしながら「理解促進のための啓発強化」「トライアル里親制度の確立」「赤ちゃん縁組の推進」等について質問・提案を行いました。  
また、施設で暮らすこどもたちが18歳で施設を出てから、生活や就労で困っている現状も指摘されています。市としての「自立援助ホーム」の早期設置など、支援の拡充を求めました。  
社会的養護・里親制度推進のためには、推進主体である児童相談所の負担軽減や里親専任班の創設、専門職員の配置など、体制の再構築・強化が求められます。

(3)

## 犬・猫殺処分ゼロのために！

## センターに収容されている犬・猫の新しい飼い主さんになっていただけませんか！

～子猫の育成ボランティアなど、各種ボランティアも募集中です～

現在、千葉市では、犬・猫の殺処分は着実に減少しています。しかし、毎日のようにセンターには犬・猫が収容されています。多くのボランティアの力でなんとか殺処分されずにいるのです。そんな現状を知っていただき、ぜひこれから犬や猫を飼おうと考えておられる方は、ぜひセンターに収容中の犬・猫たちから飼っていただければ幸いです。ホームページに情報も掲載されています。直接センターでの見学も可能です。どうぞよろしくお問い合わせをお願いします！



千葉市動物保護指導センター (稲毛区宮野木町445-1)

お問い合わせ

043-258-7817 (平日:8時半~17時半)

ホームページは「千葉市動物保護指導センター」で検索を！

### 市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話 090-3694-4173

(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話が留守番電話にメッセージをお願いします！お手紙も大歓迎です！)

ホームページ <http://www.kamei-takuma>

メール DQG06110@nifty.com



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています！ 亀井たくま で検索を！

### 亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。35歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員。椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会副委員長。保健所運営協議会委員。  
2007年の市議選は21票差で落選。2011年、初当選。2015年再選。日々修行中です！  
趣味は明治～昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます！詳しくはお電話ください！)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました！

(4)